

べっぴ 市議会だより

No.50 平成13年5月1日

編集 市議会だより編集委員会

発行 別府市議会

住所 ☎874-8511

別府市上野口町1-15

☎0977-21-1111



新世紀の 春を告げる 温泉まつり



平成13年度新年度予算など可決

3月定例会は、2月26日から3月23日までの26日間の日程で開かれました。平成13年度各会計予算（一般会計・11特別会計・水道事業会計）をはじめ、別府市湯のまち別府っ子誕生祝金等の支給に関する条例の制定についてや、平成12年度一般会計・各特別会計・水道事業会計補正予算など市長提出議案42件の審議が行われ、採決の結果、すべて原案のとおり可決、同意されました。

また、議員から提出された別府市議会議員定数条例の制定についてほか意見書1件が、原案のとおり可決されました。

主な内容

主な議決 ……P2～3

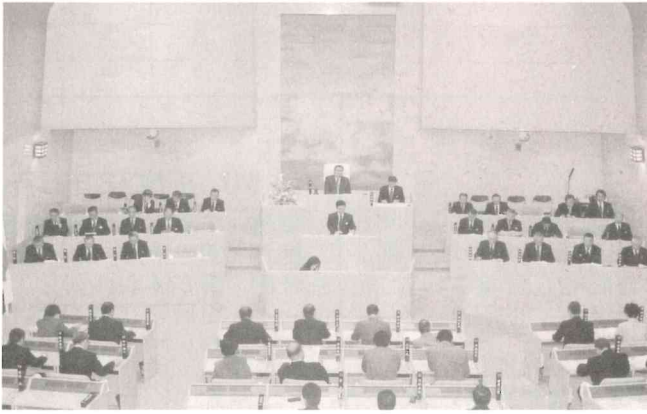
議案質疑 ……P4

一般質問 ……P5～7

臨時議会 ……P7

会派構成 ……P7

その他 ……P8



3月 定例議会風景

主な議決

三月定例会では、別府市総合体育館の建設に要する経費など、平成十三年度一般会計予算のほか、議案三十八件が上程され、市長の提案説明に対する質疑の後、所管の常任・特別委員会へ付託されました。これらの議案は最終日に、所管の委員長より審査の経過と結果について報告がなされ、すべて原案のとおり可決されました。続いて市長から助役の選任についてなど三件の人事案件が追加提案され、いずれも原案のとおり同意されました。議決された主な内容は次のとおりです。

補正予算

◎平成十二年度各会計（一般会計第六号、別府市介護保険事業特別会計ほか七特別会計、水道事業会計）補正予算（原案可決）
今回が最終予算のため、各会計とも、決算見込額によって、歳入・歳出予算の計数整理を行ったものです。

新年度予算

◎平成十三年度別府市一般会計予算

副議長の就任

三月二十三日、首藤 正副議長から辞職願いが提出されたのに伴い、副議長選挙が行われ、新たに佐藤博章副議長が選出されました。



佐藤 博章
副議長

（原案可決）

主な内容として、「観光関係」では、秋の祭りとして定着した「BEPUDROOMバル」、「別府・奈良市民の船」による市民相互での観光交流及び別府・広島間の高速観光船の定期就航化を図るための経費、並びに「べっぷクリスマスHANABIファンタジア」を支援するため経費など観光客を積極的に誘致するための経費を計上。

「教育関係」では、朝日小学校の改造工事にかかる経費や、美術館、博物館などの文化施設の総合的な見直しを図るための調査費。市民体育の向上、健康の増進やスポーツ観光の促進を図るため「別府市総合体育館」の建設に要する経費、ワールド

カップキャンペーン地として参加チームなどを積極的に誘致するための実相寺サッカー場管理棟の新築等に要する経費などを計上。

「福祉関係」では、少子化対策の今後の基本方針を定める「エンゼルプラン」の策定や新たに「湯のまち別府つ子誕生祝金等」の制度を創設し、安心して子供を産み、育てることを、支援するための経費等を計上している。

◎平成十三年度国民健康保険事業ほか十特別会計予算及び平成十三年度水道事業会計予算（原案可決）

条例の制定

◎別府市議会政務調査費の交付に関する条例の制定について（原案可決）

別府市議会議員の政務調査費の交付に關し必要な事項を定めるために条例を制定しようとするものです。

◎別府市職員公務災害等見舞金支給条例の制定について（原案可決）

職員及びその遺族の生活の安定と福祉の向上を図ることを目的に、公務災害時の見舞金を支給するために条例を制定しようとするものです。

◎別府市福祉サービス相談委員会条

例の制定について (原案可決)

福祉施設の苦情の適切な解決を図るために別府市福祉サービス相談委員会を設置することに伴い条例を制定しようとするものです。

◎別府市湯のまち別府っ子誕生祝金等の支給に関する条例の制定について (原案可決)

新生児を出産した際の祝金等の支給を行うために条例を制定しようとするものです。

◎別府市南立石二区集会所の設置及び管理に関する条例の制定について (原案可決)

地域の振興及び住民福祉の増進を図るため、別府市南立石二区集会所を設置するに伴い、条例を制定しようとするものです。

条例の一部改正

◎別府市消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について (原案可決)

退職報償金の支給基礎となる階級に係る規定を整備するために条例を改正しようとするものです。

◎特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部

改正について (原案可決)

学校医に係る規定を整備するために条例を改正しようとするものです。

◎別府市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について (原案可決)

市税の徴収に従事する職員の特殊勤務手当の支給要件を改めるために条例を改正しようとするものです。

◎別府市職員の退職手当に関する条例の一部改正について (原案可決)

失業者の退職手当を受けられる期間に係る規定等を整備するために条例を改正しようとするものです。

◎別府市職員等の旅費に関する条例等の一部改正について

(原案可決)

旅費の支給額等を改定することに伴い関係条例を改正しようとするものです。

◎別府市下水道条例の一部改正について (原案可決)

除害施設の規制にダイオキシン類を追加するために条例を改正しようとするものです。

条例の廃止

◎別府市職員り災給付条例の廃止について (原案可決)

り災の給付の目的を既に達成したことにより、条例を廃止しようとする

るものです。

その他

◎協定の締結について (原案可決)

餅ヶ浜中津留線のJＲ日豊本線ガード部分の歩道新設に伴い、工事の委託に係る協定を締結しようとするものです。

◎和解及び損害賠償の額の決定について (原案可決)

市道の管理の瑕疵による事故について、和解契約を締結し、損害賠償の額を定めようとするものです。

◎旧慣による公有財産についての権利を廃止することについて (原案可決)

湯山地区の水源保護及び水道施設整備計画に伴い、旧慣使用権を廃止しようとするものです。

◎市道路線の認定及び廃止について (原案可決)

道路法第八条第二項及び第十条第三項の規定に基づき、市道の路線を認定及び廃止しようとするものです

認定路線く扇山六十一号線ほか

十二路線
廃止路線く山の口捏山線ほか一

路線

人事

市長から、議会選出の監査委員の選任について議案が提出され同意されました。

監査委員 泉 武弘議員

議員提出議案

議員より2件の議案が提出され次のとおり表決されました。

(原案可決)

○別府市議会議員定数条例の制定について

*別府市議会議員の定数は、地方自治法第91条第1項の規定により31人とする。

*この条例は、平成15年1月1日以後初めてその期日を告示される一般選挙から施行する。

○高齢者及び障害者の雇用促進を求める意見書

案 疑 議 質

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。

三月十三日に七名の議員が行いました。そのうち、主な質疑内容を掲載いたします。

湯のまち別府っ子誕生祝金について

問 別府市湯のまち別府っ子誕生祝金等の支給に関する条例の制定及び誕生祝に要する経費に関し、この意味と現在の別府市の第一子から第六子までの出生率について説明願いたい。

答 今後の別府市の次代を担う子供の健全育成、人材確保のために助成するものです。

また、児童数については平成十二年一月から十二月までの一年間で第一子が五百四十五名（五十一・九〇％）、第二子が三百六十七名（三十四・九五％）、第三子が百九名（十・三八％）、第四子が二十三名（二・六七％）、第五子が零名、第六子に

ついては一名（〇・一〇％）となっている。

問 この条例によると、支給対象が第三子に対し十万円、第四子が二十万円、第五子以降に三十万円支給するように定められているが、このように決定された経緯について説明願いたい。

答 別府市の状況は全国の合計特殊出生率を大きく下回っているのが現状であります。別府市では現在、エンゼルプランを策定しておりますが昨年の六月から七月にかけて約二百名の方にアンケート調査を行いました。その結果、子育てするうえで、やはり経済的な負担が一番考えられるという結果が出ており、経済的な負担の軽減ということを考え決定した。

問 子育てするのに、教育費や保育料、医療費等、多額な経済的支出を

伴う現在、この問題は社会全体の問題であるので、国や社会全体で支えていくような制度に変わってきている。別府市が、この出生率を高めるためには、第二子あたりに焦点を置いてとにかく二人目を出産できるような環境づくりを行うのが大事ではないかと思われるので、今後の課題としていたきたい。

浜田温泉建設に要する経費について

問 この経緯について、新聞報道も行われており、また、市民からの要望で現在の建物を木での修復や木造による建て替えなどの、要望も出されているようだが、建設の場所と木造なのかコンクリート造りであるのか、説明願いたい。

答 市としては、既存の建物を改築できるのであれば、その方が望ましいと考えたところであるが、経費面・利用者の利便性や緊急性等を勘案して、現在の浜田温泉の東側の市有地に鉄筋コンクリート造りで建設するように決定したところです。

問 現在の浜田温泉は木造で大変素敵な建物であり文化的な付加価値も

ついている、との観点から、別府八湯や別府市のまちづくりの中にも、いかされていくことが大事であると思われるし、私の調査によると木造でもコンクリート造りでも、建設費には大差が無いようである。建て替える施設が木造ではなく、なぜ、コンクリート造なのか説明願いたい。

答 既存の施設の耐久度調査を平成十二年八月四日から平成十三年二月二十八日まで浜田温泉と竹瓦温泉について、大分大学の教授にお願いをいたしました。この目的は、浜田温泉と竹瓦温泉の文化財的な建物として現況、耐久性の調査を行い、保存を図るという目的で調査依頼を行ったものです。

その結果、平成十二年十一月十四日に建物自体の耐久度、耐力不足のため、震度の強い地震が起きた場合には、崩壊する危険性があるとの報告を受けたところです。

そこで、鉄筋コンクリートでは、耐用年数が七十年、木造では耐用年数が三十年とされており、温泉であるために、湯気や結露等に強い鉄筋コンクリート造にし、外観には木材を多く使用して、現在の浜田温泉に酷似した和風の建物にするように、現在実施設計の方をお願いしているところです。

一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。

三月十三日に九名の議員からの取下げがあり、十二名の議員が市当局の見解をたきました。

主な内容は次のとおりです。

猿渡 久子 松川 峰生
池田 康雄 野田 紀子
堀本 博行 田中 祐二
高橋美智子 泉 武弘
岩男 三男 原 克実
伊藤 敏幸 朝倉 斉

(議席順)

場外車券売場 設置について

問 日田市での場外車券売場について、別府市が進出断念をすれば、設置業者から損害賠償を求められるのではないか。

答 設置業者と、今日までの協議した事実経過からみて、約束不履行に対する損害賠償を求められることも考えられる。

サテライト日田問題 について

問 私はサテライト特集号を掲載した市長の後援会報を十回くらい読み

サテライト日田 について

答 あらゆる議員の意見を参酌しながら、過去の流れを十分検討し、弁護士とも相談しながら、前向きに検討したい。

問 この問題については、様々な事柄があつたが、分かりやすく市民に説明する必要がある。

二月の臨時議会において、サテライト日田関連予算が否決されたことは団体意思の決定である。執行部は重く受け止めるべきであり、日田市への進出は断念するべきである。

市長のコメントでは、法律上、別府市は当事者ではないとか進出を断念する意思はないという言葉しか聞かれない。私は残念でならない。

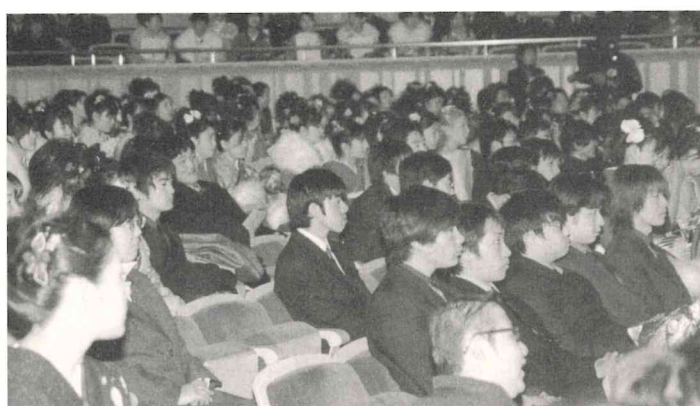
返した。二月八日の臨時議会で、サテライト設置関連予算が否決されたにもかかわらず、「議会の議決を尊重し、否決については重大に受け止めている」との言葉は一言もない。最高議決機関の議会を全く無視したものであり、俺の行き方で行くんだという内容だ。市長は、もう少し議会を尊重し、議会の議決を重んじる人だと思っていた。否決されたばかりの臨時議会後の記者会見で再提案をにおわす。市長のやり方は危惧せざるを得ない。

別府市の成人式の現状 について

問 今世紀最初の成人式は、一部の不心得の成人者とは言え、目を覆いたくなるような光景が報道されたことは記憶に新しいところだが、新成人者のマナーの悪さから、行き過ぎた行為に厳しい態度で臨んだ行政区があつたが、本市としての今後の成人式の取り組み方は。

答 現時点では、式の形式、内容については大きな変更は考えていないが、時代の変化、若者を含む市民ニーズを考慮し、新成人が大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする新成人を祝う。また、これまで育てていただいた方への感謝の機会

等、節目の式となるよう他市町村で実施されている実行委員会形式や分散型形式等の情報収集で当市にふさわしい成人式となるよう改善に努めたい。



平成13年 ビーコンプラザで行われた成人式

パソコン講座の普及 について

問 別府市では、情報通信技術の恩恵をすべての市民が享受できるようにするため、パソコン講座を開催する内容についてお尋ねする。

答 受講者は無料。市立中学校、市

立別府商業高校、サザンクロスで六月から三千三百二十名を対象に行う。

問 車椅子等の障害者が受講できるのは、サザンクロスだけだが、太陽の家や社会福祉会館など、受講できる会場を増やすことはできないか。

答 障害福祉課と今後十分検討する。

問 別府市ホームページが開設されているが、ホームページのアドレスの市報掲載による広報、認可保育所の空き状況、公共施設の申し込み等の情報をホームページに開き、多くの市民が利用できるような要望をする。

商店街の活性化について

問 別府市も商業活性化の糸口を見出だせないのが現状だが、今後商店街の活性化にはどのような対策を考えているのか。秋田県湯沢市では、活性化対策として中世ドイツ風の街並みが完成、今は大正時代の雰囲気を取り入れた個性あふれる商店街の整備が進められている。別府市も楠港埋立地の不稼働資産を生かしたインターナショナルシティのような国際色豊かな街づくりを取り入れ、イベントを盛り上げる方法は考えられないか。

答 昨年三月に、別府市中心市街地活性化基本計画を策定。今年は商店

街を支援するため、パワーアップ支援事業を進めていく。ご提言については、今後の街づくりに反映できるように参考にしていきたいと思う。

男女共同参画社会について

問 仮称「男女共同参画プラン」の策定についての進捗状況と今後の取り組みについて。

答 策定委員会で七回会議を行い、素案作りをしている。今後懇話会を設置し、問題点など検討していく。

問 全庁の横断的な問題解決を行うための推進体制になっていない。首長や部課長の推進本部による推進、支援体制が必要。

答 内容が複雑、多岐で全庁に関係するので、今後は執行部による推進体制を確立して取り組む必要がある。

問 行動計画を実効あるものにするために、DVやストーカー法、児童虐待の問題など、緊急的にも条例化する考えはないか。

答 条例化の必要性を考えている。

浜田温泉は補修して保存すべき

問 浜田温泉に関しては、これまでの経過では改修ということで進められてきたのに、いつ、どこで、移転



建て替えが予定される浜田温泉

的に浜田温泉を壊すことを考えるのではなく、長期にわたる展開をもつべきだ。

総合体育館の建設について

問 別府市総合体育館の建設地の青山町の住民に対する説明会等のお知らせはどのようにしたのか。

答 八月に青山町自治会。十二月十八日に青山町の説明会ほか、商店街有志等に二回説明会を開催した。

問 日本共産党の「総合体育館建設のアンケート」には、建設反対、賛成、条件付き賛成など多様な意見があった。地元の要望のとりまとめを自治会に依頼しているが、説明や要望を聞くことは市の責任で進めるべきだ。四十五億の税金を使って市全体のスポーツ施設を造るのだから、公聴会などを開き、特に地元住民には、文書で建設の情報を知らせるべきだ。市民の意見を取り入れないままの建設には反対だ。

市営住宅の今後について

問 市営住宅の公募のあり方について、平成十三年度から現行の三か月に一回を、二か月に一回実施するというが、具体的にはいつから実施す

して鉄筋一部木造で新築するという話になったのか。建物耐久度等測定調査研究の中間報告でも、補修不能とはなっていない。浜田温泉は竹瓦温泉と並び、温泉都市別府にはなくてはならない建造物である。何とか補修して保存していくことを第一義に考えて取り組むべきである。亀川の新しいまちおこしの視点からみてもこの浜田温泉はその中核を担うことのできる場所である。また、国際都市となる側面からみても、古い温泉家屋は貴重な財産である。短絡

るのか。

答 平成十三年五月から実施するようにした。

問 現行の市営住宅の申し込み条件は、市内在住者か市内事業所勤務に限るとあるが、全国どこからでも入所申し込みができるように条例改正も含めて、改善する時期に來ていると思うが、どうか。

答 入居条件の緩和策として、全国のどこからでも入所申し込みができるよう条例改正も含めて、六月議会に提案したいと考えている。

APUの学生と共に 町づくりを

問 立命館アジア太平洋大学の学生で東南アジアを中心とした発展途上の学生が一年目を迎え、市内のアパートに住むようになり、多くの学生をお世話してきた。その中で、次の件を質問する。その第一は、市営住宅に空き室が多いので、利用できるように努力してもらいたい。

答 空き室は亀川住宅を中心に確かにある。今後は、空き室の解消に向けて努力したい。

問 第二に、外国人のため、保証人がいない。保証制度を明確に示してほしい。

答 県が出資して年間七千五百円で

保険適用ができるので徹底したい。

問 最後に、入居にあたり、市民や職員の皆様から家具や電気器具等を寄付していただき、学生になり代わり感謝申し上げます。

市長の退職金は 減額すべき

問 カジノ誘致に反対。ギャンブルに頼らず、温泉や自然を生かした観光を進めるべきだ。市の考えを聞きたい。

答 カジノ合法化、誘致には賛否両論の声がある。観光や市民にとってどうなのか考慮し、慎重に対応していきたい。

問 市長の退職金は、四年ごとに三千二百六十万円支払われている。他市に比べても割合が高い。他市並に減額すべきだ。

答 給料月額も含めて全体的な検討が望ましい。

問 保育所・給食・清掃・出張所など、市民生活に密着した部分の民営化・縮小はすべきでない。食や環境への関心が高まる中、公共性や専門性が求められる。民営化は必ずしもコストの低下にならない。市の考えは。

答 現在専門性を生かして頑張っている。OA化なども進めている。

第一回臨時議会開会

平成十三年第一回臨時議会が去る二月八日に開会されました。

今回提案されました平成十二年度別府市競輪事業特別会計補正予算については、日田場外車券売り場投票機器等設置費の債務負担行為として三億二千万円を昨年十二月議会で

計上し、継続審査となっていたものです。

本会議では、観光経済委員会委員長が委員会審査の経過と結果について報告を行ったあと、三名の議員が反対討論を、一名の議員が賛成討論を行いました。最終的に起立による採決を行った結果、賛成者少数で否決されました。

会派構成

(◎各会派の代表者)

会 派 名	所 属 議 員			
自 民 党 議 員 団	◎浜野 弘 野口 哲男 永井 正 河野 数則	吉富英三郎 後藤 健介 三ヶ尻友正 首藤 正	黒木愛一郎 山本 一成 佐藤 岩男	松川 峰生 清成 宣明 泉 武弘 (1 4名)
公 明 党	◎伊藤 敏幸	堀本 博行	岩男 三男	原 克実 (4名)
市 民 の 声 ク ラ ブ	◎矢野 彰	池田 康雄	佐藤 博章	井田 逸朗 (4名)
社会民主党 議 員 団	◎内田 有彦	田中 祐二	高橋美智子	富田 公人 (4名)
無 所 属 ク ラ ブ	◎村田 政弘	江藤 勝彦	朝倉 育	(3名)
日本共産党 議 員 団	◎平野 文活	猿渡 久子	野田 紀子	(3名)

※なお、会派構成は平成13年3月13日現在です。

委員会構成

(◎委員長○副委員長、議席順で掲載)

委員会名	所 管 事 項	委 員 名
総務文教委員会 (8名)	行財政・組織・人事・事務管理・消防・防災・救急体制・学校教育の充実、社会教育の推進などについて審査及び調査します。	◎吉富英三郎 野田 紀子 清成 宣明 内田 有彦 ○村田 政弘 佐藤 博章 岩男 三男 浜野 弘
観光経済委員会 (8名)	観光振興・温泉の整備充実、商工業の育成活性化、競輪場の管理運営、農林水産業の振興などについて審査及び調査します。	◎富田 公人 平野 文活 佐藤 岩男 河野 数則 ○黒木愛一郎 山本 一成 泉 武弘 原 克実
厚生委員会 (9名)	福祉施策の充実、健康の増進と医療・保険体制の充実、環境・交通対策の推進などについて審査及び調査します。	◎野口 哲男 猿渡 久子 田中 祐二 江藤 勝彦 矢野 彰 ○永井 正 堀本 博行 三ヶ尻正友 首藤 正
建設水道委員会 (7名)	都市計画及び開発の推進、上水道・下水道・道路整備、公園・緑地の整備、市営住宅の整備などについて審査及び調査します。	◎井田 逸朗 松川 峰生 後藤 健介 朝倉 斉 ○池田 康雄 高橋美智子 伊藤 敏幸
議会運営委員会 (9名)	市議会の円滑な運営を図るため、議事の運営その他必要な事項を協議します。	◎内田 有彦 吉富英三郎 平野 文活 堀本 博行 江藤 勝彦 ○山本 一成 黒木愛一郎 野口 哲男 井田 逸朗

市議会だより

編集委員会

市議会だより編集委員会は次のとおり新しい編集委員が決まりました。今後とも、市民に親しまれ、より分かりやすい紙面づくりに努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

委員長 堀本 博行
副委員長 松川 峰生
委員 池田 康雄
野田 紀子
高橋美智子
江藤 勝彦
三ヶ尻正友
佐藤 博章
副議長 〃 〃 〃
議長 長

お願い

政治家が、入学、卒業、就職・結婚・出産などのお祝いや各種会合へ祝儀などの寄付をすることは禁止されています。
政治家に、寄付を勧誘・要求することを禁止されています。

傍聴のご案内

- ◆ 本会議はどなたでも傍聴できます。
- ◆ お気軽に議会棟4階へお越しください。
- ◆ 次の定例会は6月上旬に予定しております。

人 事

次の人が助役及び教育委員会委員に同意されました。

○助役の選任について

安倍 一郎(昭和17年2月22日生)
別府市亀川四の湯町12番16号

(経歴)

平成5年4月 大分県別杵速見地方振興局長
平成7年5月 大分県総務部総務課長
平成7年6月 大分県総務部次長兼総務課長
平成7年6月 別府市助役
平成10年4月 大分県福祉保健部長

○教育委員会委員の任命について

山田 俊秀(昭和14年3月15日生)
別府市上人西町11組

(経歴)

平成6年4月 別府市教育委員会同和教育室長
平成7年7月 別府市立朝日中学校校長
平成9年4月 大分県竹田教育事務所長
平成12年4月 財団法人21世紀職業財団大分事務所長